

地域公共交通の人材確保について

【担当省庁】国土交通省

少子高齢化や人口減少などによる利用者の減少に加え、運転士不足がバス路線の維持やタクシーの確保に深刻な影響を及ぼしている。

さらに、令和6年4月から適用される、いわゆる「2024年問題」などの影響により、さらなる減便等も懸念されているところであり、地域公共交通の維持・確保に向け、予算の確保と補助制度の拡充等の措置を講じていただきたい。

〔運転士不足対策〕

○バス・タクシー運転士の賃金水準の向上に向けて、以下の支援をお願いしたい。

- ・事業の生産性向上に向け、AI オンデマンド交通や乗合タクシーなど、AI・ICT技術を用いた効率的な運営、運行への支援の拡充
- ・需要動向や物価高騰等の社会情勢に応じた機動的、弾力的な運賃設定や、手荷物料金の設定など、運賃設定の自由度を高めるための規制緩和や制度の創設

○バス、タクシー事業者が人材確保のために負担する、二種免許取得費用やPR経費等について、継続的な支援と必要な予算を確保いただきたい。

○自家用有償旅客運送の効果的な活用や、ライドシェアの制度検討を進めるとともに、地域の特性、実情を十分に踏まえることができるよう、地域が行う実証事業に対する支援制度の創設と必要な予算を確保いただきたい。

〔地域公共交通の維持・確保に対する支援〕

○地域公共交通の維持には、事業者の経営努力のみでなく、適切な公的負担が必要であり、路線確保・維持のための国庫補助制度の拡充と、地方自治体の財源確保等をしていただきたい。

【現状・課題等】

- 京都府内では、過疎地域のみならず、都市部においても運転士不足を原因とした路線の廃止や減便が行われており、バスやタクシーなど、地域の生活に不可欠な公共交通の維持確保を図ることが必要
- 過疎地域や観光地等におけるタクシー不足の解決策として、ライドシェアの導入に係る議論が活発化しているが、ライドシェアは安全の確保や利用者保護の観点から課題があり、制度化には地域の実情を十分に踏まえた上で国において慎重な検討が必要

京都府 の担当課	建設交通部 交通政策課(075-414-4359)
-------------	---------------------------

【国の事業等】

■概算要求〔国土交通省〕

▶ 地域公共交通の「リ・デザイン」等に対する支援 282 億円
(令和5年度予算 222 億円)

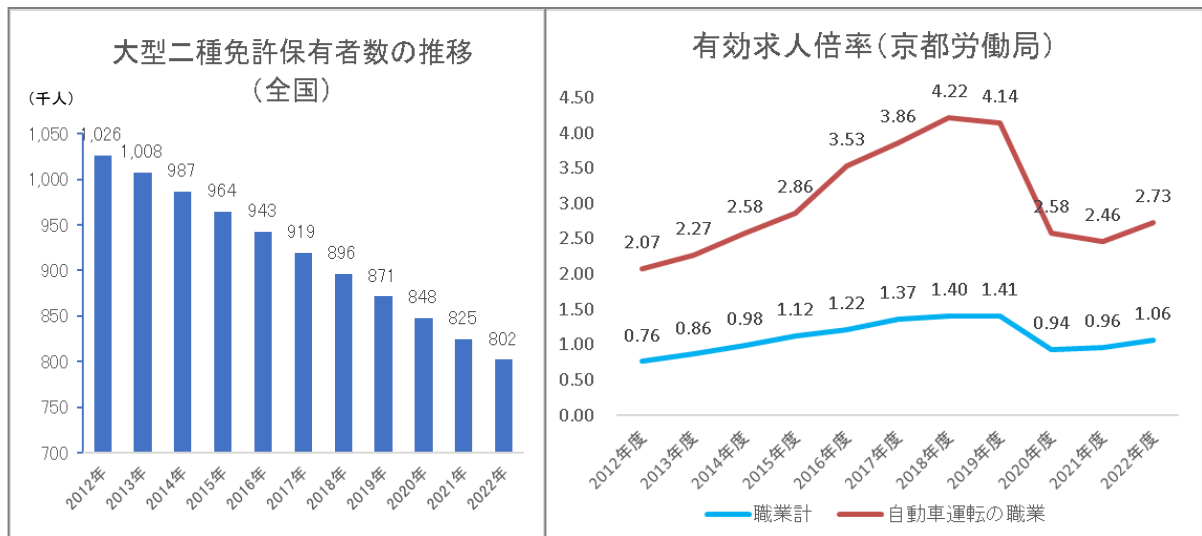
○地域の公共交通のリ・デザインと社会的課題解決を一体的に推進するための多様な関係者の共創や DX・GX による持続可能な地域公共交通の実現

- ・官民、交通事業者間、他分野の共創や MaaS のさらなる高度化を推進する共創・MaaS プロジェクト
- ・タッチ決済等の新たな決済手段や新しいモビリティの導入、交通情報データ化等の DX・GX による公共交通の基盤強化

○地域公共交通の維持確保・体質改善

- ・地域公共交通計画に基づく地域公共交通の運行等の支援強化
- ・バス・タクシー運転者の安全・安心な職場環境構築の支援等、人材確保対策の強化

■自動車運送事業の現状



警察庁「運転免許統計」

厚生労働省「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」

■京都府内バス路線の減便状況 (令和5年度)

バス事業者	京都京阪バス(株)	京阪京都交通(株)
実施時期	11月13日～	10月23日～12月15日の平日38日間
対象路線数	7路線	5路線
減便理由	運転士不足による	運転士不足による
減便内容	265便→187便 (▲78便、▲29.4%)	402便→380便 (▲22便、▲5.5%)

